

西宮市議会議員

田中まさたけ

正 剛

市政・市議会報告



「お役所仕事」との闘い

縦割り行政、他人事の対応、遅い意思決定、場当たりの行政運営、事業のやりっ放し等々。

「やらない理由」を「できない理由」に代え、市民の切実な課題に向き合おうとせず課題を放置する市役所。

おかみ

これら「お役所仕事」は将来にツケを残すとともに、住民が「住んでよかった」と思える街の姿から遠ざけます。

私は、本会議において「やるべき根拠」と「できる方法」を提示し、「お役所仕事」と闘ってきました。

市民の声に基づいた政策を実現するために存在する市議員には、「お役所仕事」に立ち向かう覚悟が必要なのです。

政策のゆくえ

市立中央病院と県立西宮病院の統合

兵庫県知事と西宮市長により、市立中央病院と県立西宮病院の統合再編に向けた基本協定が締結されました。アサヒビール跡地に6年後の開院を目指して動き出します。

■赤字垂れ流しの市立中央病院は清算・閉院へ

現在の市立中央病院は、県立西宮病院との統合が実現すると、借金等を清算して閉院となります。そして、新統合病院は県立となることから、基本的に公立病院事業は県に委ねられます。

市立中央病院の閉院に伴い、

- 市からの長期借入金約34億円の債権放棄。
- 銀行からの借金返済のために、今後4年間で約31.5億円の市税を投入。
- 退職金の支払いに約7億円。

が必要となる見込みであることを、平成30年9月議会で明らかにしました。

■統合新病院建設に向けて準備に入ります

アサヒビール西宮工場跡地に、600床規模の病院を建設するための準備が進められます。新病院建設に要する市の負担は61.6億円と試算されており、現在

の市立中央病院の閉院に伴う清算費用と合わせると約100億円の市税を要する見込みです。これらを20年返済の借金で対応し、県立病院に対して運営費負担として求められている、年間約4.6億円の市税投入と合わせると、年間約10億円を要することになります。この負担の有無による市民の医療環境への影響を説明し、最終決定する前に市民の意見を聞く機会も設けるよう求めています。

■調整結果で示された市の費用負担

	用地取得	建物整備	機器購入	合計	
病院整備費用	55億	218億	70億	343億	
税負担	国(地方交付税)	22億	79.2億	28億	129.2億
	県	0	44.6億	12.6億	57.2億
	市	33億	22.3億	6.3億	61.6億

※金額の100万円以下は四捨五入。

(単位:円)